

深刻化する環境問題、一向に減少しない大規模事故。今日のデザインは、20世紀までのデザイン自身が引き起こした多くの諸課題に自ら苦悶する事態となっています。また、その一方で、物質的価値のみならず精神的価値を含めた新たな価値の創生に期するところは大きく、デザインの果たすべき社会的役割は益々増大しています。

これらの諸課題や期待に応えるべく、現在までに専門化され、細分化されたさまざまな領域のデザインは、今こそ一丸となり、総力で取り組むことが望まれています。そして、その実行ために、各領域のデザインに共通の基盤となる“デザインサイエンス”の構築が不可欠です。さらに、それに基づくことで、時代の閉塞感を打破する、新たな価値創生に向けたデザインの新たなパラダイムも待望されています。

これらの現状を受け、本デザイン塾では、前半に、各領域のデザインに共通の基盤となるデザインサイエンスの構築とその成果を結実させる「デザイン科学ハンドブック(仮称)」の編纂・出版に向けた議論を行います。また、後半には、マルチタイムスケールの視点から時を紡ぎ、使えば使うほど人工物の価値を成長させるデザインの新たなパラダイム“タイム軸・デザイン”を提唱いたします。デザイナー、エンジニアなどのデザイン現場に携わる方々、様々なデザイン領域の教育者や研究者の方々など、デザインに関わる多数の皆様のご参加をお願いいたします。

## デザイン塾：“デザインサイエンス”，その文脈と胎動

- 主催 : デザイン科学に関連する下記の連合\*, デザイン塾
  - \* 日本デザイン学会 デザイン理論・方法論研究部会 (DTM)
  - 日本機械学会 Design理論・方法論研究会
  - 日本設計工学会 設計理論・方法論に関する研究調査分科会
- 共催 : グローバルCOE「環境共生・安全システムデザインのための先導拠点」
- 日時 : 平成21年5月22日(金)、14:00 ~ 19:00
- 会場 : 慶應義塾大学矢上キャンパス (最寄駅: 東急東横線日吉駅)  
創想館7階マルチメディアフォーラム
- 参加 : ￥1,000 (懇親会費を含みます)
- 登録 : DTM幹事, 慶應義塾大学, 氏家良樹 (designjuku@mech.keio.ac.jp) までご連絡下さい。

- (1) 「“デザインサイエンス”の文脈と胎動」 司会: 氏家良樹 (慶應義塾大学)
  - ・松岡由幸 (日本デザイン学会 デザイン理論・方法論研究部会 (DTM) 主査, 慶應義塾大学)
  - ・村上存 (日本機械学会 Design理論・方法論研究会 主査, 東京大学)
  - ・綿貫啓一 (日本設計工学会 設計理論・方法論に関する研究調査分科会 主査, 埼玉大学)
- (2) 「新パラダイム: 時を紡ぐ“タイム軸・デザイン”の提唱」 司会: 五十嵐浩也 (筑波大学)
  - ・松岡由幸
  - ・小林昭世 (武蔵野美術大学)
  - ・脇田玲 (慶應義塾大学)
  - ・五十嵐浩也 (筑波大学)
- (3) 懇親会 (17:00~19:00)

